

「社協のヘルパーさんは生活の支えです」

車いすで1人暮らしの杉山さんに聞く

生まれつき脳性マヒがあり、車いすでの生活を続けてきた、鶴巻南に住む杉山千津子さん。35歳の時に結婚し、子どもにも恵まれた。しかし支え合ってきた夫にはおよそ15年前に先立たれ、成人した1人暮らしは、今では家庭を持つようになった。



ホームヘルパーの上田さんと笑顔の杉山さん

現在は1人暮らしで、近い場所に住む息子が毎日のように様子を見に来てくれるという。「うれしいよ、いろいろな世話もしてくれて、いい息子なんだよ」と笑顔で嬉しそうに話してくれる。

その一方で1人暮らしの日常は手助けして欲しい場面も多々あるのが現実だ。そんな杉山さんの毎日の暮らしを、ホームヘルパーが支えている。掃除や洗濯、買い物など多岐にわたるサポート

この日杉山さん宅を訪れたのは、サービス提供責任者の上田理恵子さん。上田さんは杉山さんと笑顔で会話しながら、テキパキと洗濯物を干している。その他にも部屋の清掃、病院や買い物物の付き添いなど、杉山さんの毎日の暮らしを色々な面でサポートする。「外出もヘルパーさんと一緒だと安心です」と杉山さんは笑顔で話している。

時には緊急の要望に添えることも。「車いすから落ちて上がれなくなったことがあって、その時も電話したらヘルパーさんがすぐ駆けつけてくれました」と記憶に残るほどの存在は大きい。

息子が小さいころは子育てに悩みもあった杉山さん。家事の手伝いの傍ら悩みの相談に乗ってくれたヘルパーさんもたくさんいたという。上田さんも「あまり気取らず、古い友達のような感覚になります」と言っている。2人で顔を合わせ互いに笑顔がこぼれる。「今は週2回デイサービスに通ったり、生活を楽しくしています。家族はもうありません。ヘルパーさんをはじめいろいろな方の支えがあってこそですね」と話した。

「もしもの時に役立ちます」安心カード

皆さんは「安心カード」をご存知だろうか。カードは、突然の病気や発症で個人情報や伝えられない時、第三者に知らせる手段として作られた。氏名や生年月日、住所、緊急連絡先、家族、身近な人、持病、かかりつけの病院などを明記しておくことで、緊急時に役立つ。

カードは主に、一人暮らしの65歳以上の高齢者や高齢者世帯などに配られている。消防や警察、行政民生委員が共通の認識を持つことで、地域の高齢者を支える仕組みを作っている。「いざという時に困らないよう、持っていてほしい」と熊澤会長は呼び掛けている。

赤い羽根共同募金仕様の自動販売機をご存知ですか？飲み物を購入する際、設置者の協力により、一定額が自動的に共同募金に振り込まれる仕組みです。

赤い羽根共同募金仕様の自動販売機を市内に設置する仕組みで、秦野市は県内で最も多くの事業所に設置されている。この自販機について、秦野市社会福祉協議会に話を聞きました。

なぜ、赤い羽根自販機ができたのか。景気の低迷や人口減少などから近年募金額は下がり続けています。援助を必要とする方々を支援するために、赤い羽根自販機が設置される仕組みです。秦野市は県内で最も多く設置されている。この自販機について、秦野市社会福祉協議会に話を聞きました。

「福祉業界のイメージを変えたい」

首屋高校でPR活動

11月10日(土)、秦野首屋高校主催の学校説明会「SOYAフェスタ2018」の会場で、市内福祉施設職員が構成される「福祉人材育成にかかわる懇話会」のメンバーが、福祉の仕事のPRを行った。

会場では、福祉施設職 作した自主製品の販売や員1000人を行ったア ワークショップなども行

会問題となっているが、福祉業界にとってもこの問題は深刻だ。しかし、その一方で、相手の感情を読み取るなどのコミュニケーションを必要とする職業である福祉の仕事は、人工知能によって仕事が奪われる可能性が低いとも言われている。「誤解されがちな福祉の仕事の可能性と魅力を高校生に知ってほしい」と話すのは湘南老人ホームの河野信子所長。

他のメンバーも、この「人口減少社会」というキーワードをよく見掛ける。実際に、秦野市でも人口減少が始まって少なくなっている。学生優位の売り手市場と言われ、人不足が社会福祉協議会

第51回秦野市社会福祉大会が10月20日、秦野市文化会館で行われた。長年福祉活動に携わった功労者・団体の表彰では、秦野市や秦野市社会福祉協議会から114人と10団体に表彰状や感謝状が贈られた。主催者である高橋昌和市長と藤村

和静会長をはじめ県議員、市議員ほか来賓者等400人を超える来場者が受賞者を称えた。藤村会長は西日本豪雨災害や北海道胆振東部地震で設置されたボランティアセンターの状況について「住民の相互の助け合いが大きな成果をあげている。日頃から人々が出会い顔なじみとなる場を地域の中に作り出すことが、いざという時のSOSを出せる環境づくりにつながる」と思い込めた。

基調講演では、パリンピック3大会連続金メダルを獲得した女子水泳の成田真由美さんが「自分の可能性を求めて」という演題で講演が行われ、会場の人は成田さんの話に耳を傾けていた。

各種受賞者は社協のホームページに掲載中。

生活・貸付・成年後見制度など

生活支援相談・支援OSを出せる環境づくり

生活支援相談・支援OSを出せる環境づくり

114人、10団体が受賞

秦野市社会福祉大会

第51回秦野市社会福祉大会が10月20日、秦野市文化会館で行われた。長年福祉活動に携わった功労者・団体の表彰では、秦野市や秦野市社会福祉協議会から114人と10団体に表彰状や感謝状が贈られた。主催者である高橋昌和市長と藤村

和静会長をはじめ県議員、市議員ほか来賓者等400人を超える来場者が受賞者を称えた。藤村会長は西日本豪雨災害や北海道胆振東部地震で設置されたボランティアセンターの状況について「住民の相互の助け合いが大きな成果をあげている。日頃から人々が出会い顔なじみとなる場を地域の中に作り出すことが、いざという時のSOSを出せる環境づくりにつながる」と思い込めた。

基調講演では、パリンピック3大会連続金メダルを獲得した女子水泳の成田真由美さんが「自分の可能性を求めて」という演題で講演が行われ、会場の人は成田さんの話に耳を傾けていた。

各種受賞者は社協のホームページに掲載中。

生活・貸付・成年後見制度など

生活支援相談・支援OSを出せる環境づくり

生活支援相談・支援OSを出せる環境づくり

社協が行う相談事業

生活・貸付・成年後見制度など

秦野市社会福祉協議会では、地域での自立した生活を支えるための総合相談窓口を開設している。総合相談センター「きやつち」月から金曜日/午前9時から正午、午後1時から5時。

生活支援相談・支援OSを出せる環境づくり

生活支援相談・支援OSを出せる環境づくり

生活支援相談・支援OSを出せる環境づくり

生活支援相談・支援OSを出せる環境づくり

生活支援相談・支援OSを出せる環境づくり

生活支援相談・支援OSを出せる環境づくり

出前講座で成年後見制度学

広畑民生委員児童委員長

10月4日、秦野市成年後見制度利用支援センター(以下「支援センター」)による成年後見制度の出前講座が開かれた。

ひとり暮らし高齢者から寄せられる財産管理や将来の不安に関する日々の相談に活かそうと広畑地区の民生委員児童委員長が企画し、成年後見制度の他、財産管理契

約や死後事務委任など制度外の仕組みなどについて学んだ。参加者はメモを取りながら熱心に聞いていた。支援センターでは無料で講師を派遣している。詳細・問い合わせは84-7711へ。

約や死後事務委任など制度外の仕組みなどについて学んだ。参加者はメモを取りながら熱心に聞いていた。支援センターでは無料で講師を派遣している。詳細・問い合わせは84-7711へ。

約や死後事務委任など制度外の仕組みなどについて学んだ。参加者はメモを取りながら熱心に聞いていた。支援センターでは無料で講師を派遣している。詳細・問い合わせは84-7711へ。

約や死後事務委任など制度外の仕組みなどについて学んだ。参加者はメモを取りながら熱心に聞いていた。支援センターでは無料で講師を派遣している。詳細・問い合わせは84-7711へ。

約や死後事務委任など制度外の仕組みなどについて学んだ。参加者はメモを取りながら熱心に聞いていた。支援センターでは無料で講師を派遣している。詳細・問い合わせは84-7711へ。

ボラ連通信

赤い羽根共同募金・街頭募金協力(10月2日)

役員4人▽研修会(10月16日)▽横浜地方裁判所裁判傍聴/20団体(45人)▽1円玉募金活動(10月10日)▽役員2人

社会福祉大会ともしび広場(10月21日)▽模擬店出店/役員9人▽市民の日(11月3日)▽ボランティア啓発活動/役員3人

2人▽団体(秦野市話サークル奉仕団)▽1円玉募金活動(11月3日)▽役員3人。

ボラ連とは「秦野市ボランティア連絡会」の略称です。会員数は、78団体3238人。来年1月25日には秦野市社会福祉協議会と共催で講演会を開催予定です。

ボラ連とは「秦野市ボランティア連絡会」の略称です。会員数は、78団体3238人。来年1月25日には秦野市社会福祉協議会と共催で講演会を開催予定です。

ボラ連とは「秦野市ボランティア連絡会」の略称です。会員数は、78団体3238人。来年1月25日には秦野市社会福祉協議会と共催で講演会を開催予定です。

ボラ連とは「秦野市ボランティア連絡会」の略称です。会員数は、78団体3238人。来年1月25日には秦野市社会福祉協議会と共催で講演会を開催予定です。



高校生に福祉の仕事のPRをする懇話会のメンバー



表彰式の様子

生活支援相談・支援OSを出せる環境づくり

生活支援相談・支援OSを出せる環境づくり

生活支援相談・支援OSを出せる環境づくり

生活支援相談・支援OSを出せる環境づくり

生活支援相談・支援OSを出せる環境づくり

生活支援相談・支援OSを出せる環境づくり

生活支援相談・支援OSを出せる環境づくり